



Serviced
Residence for
the Elderly



In-home
Care Support



Day Service



Visiting
Bath Service



Home Visit
Care Service



Rental and Sales
of Assistive
Equipment



Angel Care



Clean Service



Home Visit
Nursing Service



Beijing
Subsidiary



Shanghai
Subsidiary



Domestic
Subsidiary



Care Service Co., Ltd.

株主・投資家の皆様へ
ケアサービス便り

Letters from Care Service Co., Ltd.

2016.4.1 ▶ 2017.3.31

▶ ケアサービスでは、「介護からエンゼルケアまで」



～心豊かな人生を、そして感動の旅立ち～

お客様が大切にされてきた人生観や価値観をお守りし、心を通わせて、安全かつ安心してご利用いただけるサービスのご提供を目指してまいります。

介護事業

すべてはケアマネジャーへのご相談から

ご相談に応じて、専門家であるケアマネジャーが、最適なケアプランの作成からサービス事業者の選定・連絡・調整をいたします。

身体を洗うだけではなく、心身を元気にする入浴

看護師を含む専門スタッフが訪問入浴車でご自宅にお伺いし、お部屋での入浴サービスと付加サービスとして口腔ケアをご提供いたします。

看護師がご自宅に訪問し、療養生活をサポート

看護師がご自宅に訪問し、リハビリからターミナルケアまで幅広く療養生活をご支援いたします。医師と連携を取り、最適なケアを行います。



居宅介護支援



デイサービス



訪問入浴



訪問介護



訪問看護



福祉用具
貸与・販売

安心してお過ごしいただける「もう一つの我が家」

ご自宅での生活が充実するよう、運動や個性を重視した趣味活動などを通して、身体機能の維持・向上をサポートいたします。

住み慣れたご自宅での日常生活を支援

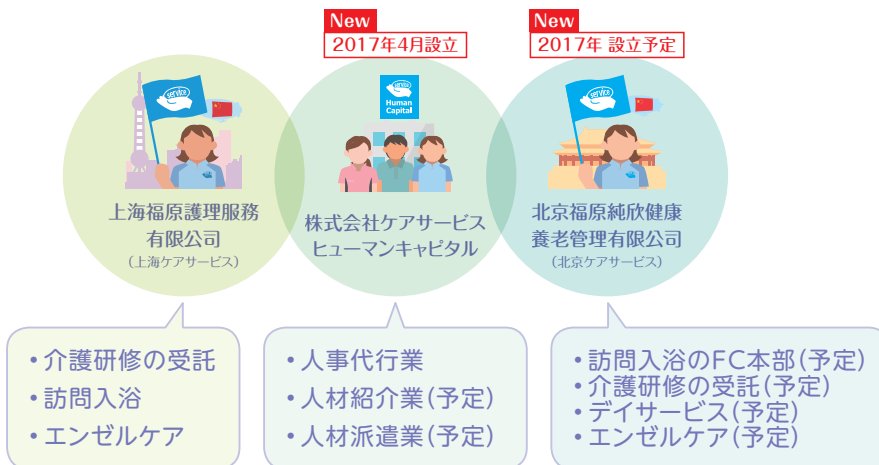
在宅での介護を必要とされる方々に、ヘルパーの資格を持つ専門のスタッフがご自宅にお伺いいたします。

福祉用具に関わる全てをお手伝い

専門の資格を持つスタッフがお客様の状態に合わせて、必要な福祉用具を選定いたします。介護保険でご利用いただけます。

の一貫したサービスをご提供しております

子会社



エンゼルケア事業



遺品整理と遺品のご供養

故人様が住まわれていた住居の清掃・原状復帰をお手伝いするサービスです。遺品・衣類などをご遺族様と話し合いながら整理いたします。

美しい思い出をつくる最後の介護

エンゼルケア(湯灌)を「介護の到達点」と位置付け、故人様の安らかな旅立ちのお手伝いをいたします。

サービス付き高齢者向け住宅事業



介護保険でサービスが受けられる サービス付き高齢者向け住宅

介護スタッフが24時間常駐し、昼夜を問わず介護度に合った日常生活上のお世話を包括的にを行います。

※一般的にエンゼルケアとは、故人様が人生の最期にふさわしい姿となるようにお整える行為を指します。
ケアサービスのエンゼルケアは、湯灌により故人様のお身体や髪を洗い清め、お身体の処置をし、お化粧を施し、身支度を整え、ご納棺まで執り行います。故人様の尊厳を第一に考え、また、ご家族が故人様を想い偲ぶことができる感動の儀式です。

▶ 株主の皆様へ

これまでケアサービスでは、2015年4月の介護報酬改定による事業環境の影響を真摯に受け止め、成長を維持・継続するために事業所の合理化、人員配置の最適化など、さまざまな取り組みを進めてまいりました。代表取締役社長 福原敏雄に今後の展望をききました。



代表取締役社長

福原敏雄

企業理念

私たちは、お客様一人ひとりの
尊厳に共感したサービスを提供します

私たちは、全従業員と
その家族の幸せを追求します

Q 2017年3月期の業績概要について 教えてください。

2015年4月に行われた介護報酬改定による大幅な報酬単価引き下げ(平均で4.48%)の影響が顕著となり、厳しい状況が続いております。

当社グループにおいては、介護報酬単価の引き下げは、少子高齢化による労働人口の減少、それに伴う税収減、また2025年には約800万人といわれる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となるという環境のもとでは、当然のこととして受け止め、この環境下で成長を維持・継続できる事業の構築を考えております。そのための施策として、国内の介護事業では、将来の展開を意識した利益確保と強固なドミナントエリア形成に向けて、事業所の統廃合による合理化、人員配置の最適化を進めてまいりました。

また、主力のデイサービスでは、日曜営業による営業日の増加もあり、サービス付き高齢者向け住宅事業とともに稼働率を改善いたしました。

これらの結果、当期の売上高は8,435百万円(前期比1.6%増)、営業利益は234百万円(同3.5%減)、経常利益は289百万円(同13.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は156百万円(同6.5%増)となりました。



2017年3月期に行った取り組みと、その狙いについて教えてください。

これまで当社グループでは、在宅介護に特化し東京23区を中心としたドミナント戦略を推進してまいりました。しかし、2017年3月期は、これまでとは明らかに違う時代に入ってきており、今後の成長のための調整期と位置付けて事業戦略を展開してまいりました。

介護事業での事業所の統廃合はその一例です。採算性が低い5事業所を近隣の事業所へ統合し、効率的な展開と高収益体質への強化を図りました。また、統合が難しい3事業所については、事業の根本的な見直しを行い、事業所の休止・廃止を実施いたしました。統廃合の対象となった事業所のお客様については、これまでと変わらぬレベルのサービスをご利用いただけるよう、責任をもって最寄りの当社事業所や近隣の同業者様をご紹介いたしました。従業員についても、他の当社事業所で引き続き活躍いただいております。

また、政府による医療から介護への方向性が、施設や病院から在宅へとシフトし、介護と医療の連携がこれまで以上に重要になっております。当社グループでは、介護と医療との連携事業として、2016年7月より訪問看護事業を開始し、蒲田駅近くに第1号事業所「訪問看護おおた」を立ち上げました。

海外事業では、現在2015年8月に設立した中国子会社の上海福原護理服務有限公司で、訪問入浴やエンゼルケア事業、介護研修講座、介護用品販売の各事業を展開しております。2016年5月に開催された、上海市民政局主催の介護サービスのコンテスト『上海養老服務創新実践案例評選』に

おいて、訪問入浴事業が海外資本の民間企業が提供するサービスとして唯一、最優秀賞を受賞しました。また、エンゼルケア事業は、日本国内以上に関心が高まっており、2016年11月より上海市内の国営の殯儀館ひんぎかん(以下、「葬儀場」)のひとつである上海松江区葬儀場にて操業を開始いたしました。



今後の成長戦略について、重点項目となる取り組みを教えてください。

2018年4月に介護報酬と診療報酬の同時改定を控えており、報酬単価の引き下げが想定され、引き続き業界を取り巻く環境は、より厳しいものになると想定しております。

しかしながら、良いサービスは必ずお客様から選ばれるものであり、当社グループにおいても、お客様に選んでいただけるようサービスレベルの向上に注力してまいります。当社グループでは、在宅介護約50年、エンゼルケア30年の経験で培ってきた強みをさらに伸ばし、「介護からエンゼルケアまで」一貫したサービスをご提供するための基盤強化に、今後も努めてまいります。

2018年3月期は、国内の介護事業では、既存事業所の稼働率向上を図るとともに、デイサービス1事業所、訪問入浴サービス1事業所の新規開設を予定しております。エンゼルケア事業については、既存顧客である互助会、葬儀社に対する迅速なサポート体制の整備を行い、2事業所の新規開設を予定しております。

2016年7月からは介護と医療のパイプ役となる訪問看護事業をスタートさせ、「介護からエンゼルケアまで」という、当

社グループ理念を実現させる下地を整えてまいりました。訪問看護、在宅介護、エンゼルケアなどのサービスをご利用いただき、お客様との連続した接点を持つことで、さまざまな介護保険対象外のビジネスをご提供できる可能性も広がってまいります。他社とのビジネス連携も積極的に検討してまいります。

海外事業では、中国・上海市の上海福原護理服務有限公司において、現在訪問入浴サービス、介護研修の受託の他に、エンゼルケアサービスを展開しておりますが、今後は上海市だけではなく、他の大都市圏においても同様に在宅介護やエンゼルケアの展開を推し進めたいと考えております。日本と同様に急速な高齢化が進む中国では、今後さらに市場の急拡大が見込まれております。当社グループでは、日本で長年培ったノウハウや技術を中国でもいち早く展開することで、中国市場の成長とともに事業を拡大していきたいと考えております。

Q 人材の育成・確保は介護ビジネス最大の経営課題です。御社グループの施策について教えてください。

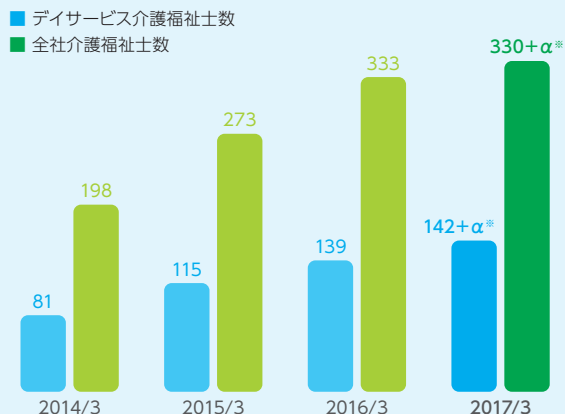
新卒、中途ともに厳しい採用環境にあるなかで、2018年3月期は新卒社員として38名を採用することができました。しかしながら当社グループの事業所は、エンゼルケアを含め100ヵ所あり、事業所単位で見れば、平均1名の増員にも至っておりません。また、中途社員についても同月に20名採用いたしました。これまで、希望する年収、人間関係といった問

題から早期に退職してしまうケースが見受けられております。介護事業の商品は人が提供するサービスです。社員の離職はサービスの低下に直接つながり、事業所の収益にも大きく影響します。

そこで当社グループでは、子会社として、2017年4月に人材関連事業会社である株式会社ケアサービスヒューマンキャピタルを設立いたしました。介護業界全体の課題であり、差別化要因でもある介護人材の採用と育成に向けて、採用力を向上させていくとともに、入社後の「(介護サービスに対する)思い」の不一致を解決するための人事業務代行業、人材紹介業、人材派遣業を展開する予定でおります。

▶ 介護福祉士数の推移

(単位：名)



※2017年3月の合格発表者分が加算されておりません。
約20名の合格を想定しております。



株主・投資家の皆様へメッセージを お願いします。

当社グループは「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスの提供を日本国内にとどまらず、海外における提供エリアの拡大も計画しております。

中国では、日本以上に高齢化へのスピードが増しており、社会問題になっております。既に2015年8月に会社を設立し、介護事業を開始した上海福原護理服務有限公司におきましては、2016年11月から国営の葬儀場でエンゼルケア事業を操業しております。「介護からエンゼルケアまで」の一貫したケアサービスの高いサービス品質は、国を問わず受け入れ

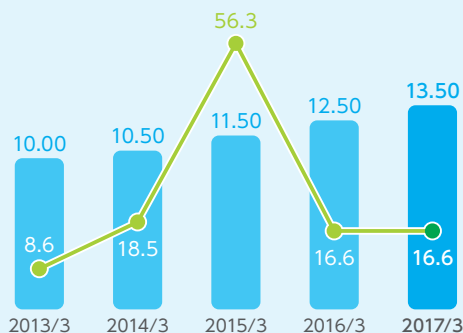
られるものと考えております。中国においては、介護保険制度の準備が整い、介護サービスの草創期であり、スピーディーな事業展開が必要だと考えております。そのため2018年3月期は、積極的な投資を実施してまいります。

当社グループでは、株主の皆様に対して、長期的かつ総合的な利益の拡大を重要な経営目標と位置付けております。株主配当につきましては、中長期的な事業計画に基づき、設備投資および再投資のための内部資金の確保と、安定的な配当を実施することを基本方針としております。2017年3月期は、1株当たり13円50銭といたしました。また、2018年3月期につきましては、同様に1株当たり13円50銭を予定しております。

▶ 配当金と配当性向の推移

(単位：円/%)

■ 配当金 ● 配当性向



※2013年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。
※2016年3月期より連結決算を採用しております。2015年3月期以前の数値は単体決算であり、参考値として掲載しております。

▶ 2018年3月期 業績予想概要

(単位：百万円)

	2017/3		2018/3(予想)		前期比
	実績	利益率	予想	利益率	
売上高	8,435	—	8,712	—	3.3% ↗
営業利益	234	2.8%	240	2.8%	2.5% ↗
経常利益	289	3.4%	222	2.6%	△23.0% ↘
親会社株主に帰属する当期純利益	156	1.9%	140	1.6%	△10.2% ↘

※2017年3月期の経常利益実績値は、営業外収益(受取和解金)60百万円が含まれております。

▶ 1株当たり情報

(単位：円)

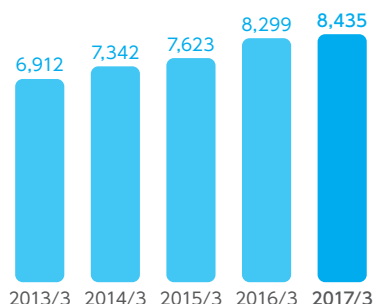
	2017/3	2018/3(予想)
当期純利益(EPS)	81.12	73.94 ↘
年間配当金(DPS)	13.50	13.50 →

※業績予想につきましては、当社が現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、そのため不確定要因や今後の事業展開における状況変化等により、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

業績ハイライト

売上高

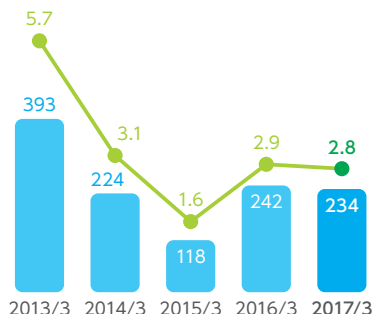
(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円/%)

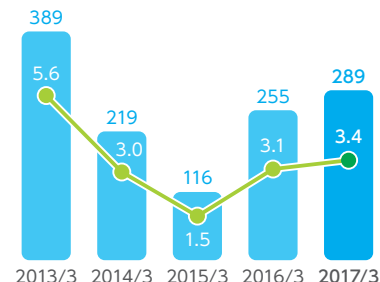
■ 営業利益 ● 営業利益率



経常利益

(単位: 百万円/%)

■ 経常利益 ● 経常利益率

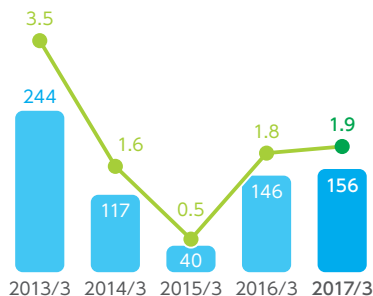


親会社株主に

(単位: 百万円/%)

帰属する当期純利益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益
● 当期純利益率

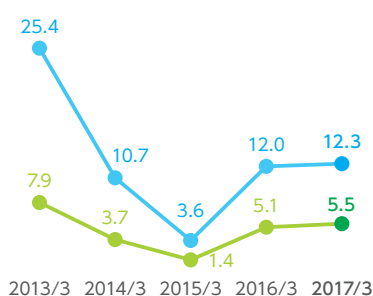


自己資本利益率(ROE)

(単位: %)

総資本利益率(ROA)

● 自己資本利益率(ROE)
● 総資本利益率(ROA)

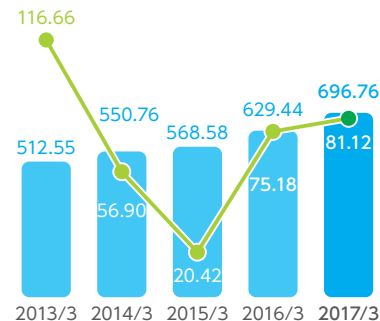


1株当たり純資産(BPS)

(単位: 円)

1株当たり当期純利益(EPS)

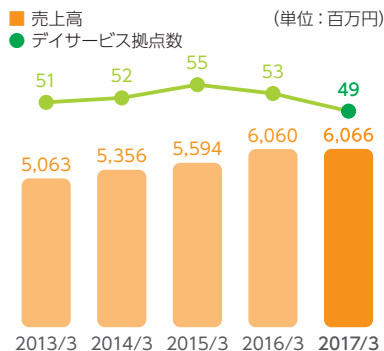
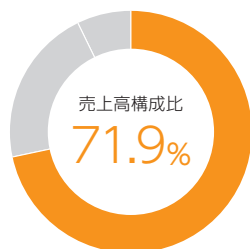
■ 1株当たり純資産(BPS)
● 1株当たり当期純利益(EPS)



※2013年7月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。
※2016年3月期より連結決算を採用しております。2015年3月期以前の数値は単体決算であり、参考値として掲載しております。

▶ セグメント別の業績

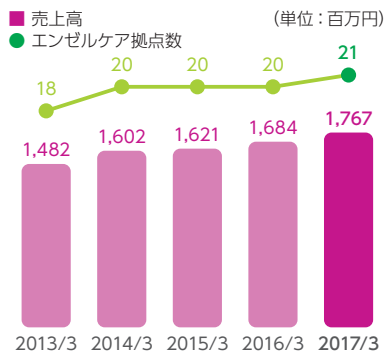
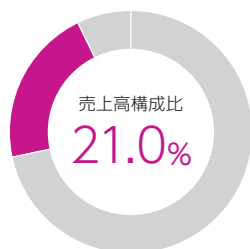
▶ 介護事業



居宅介護支援、デイサービス、訪問入浴、訪問介護、訪問看護、福祉用具貸与、特定福祉用具販売等の国内の介護サービスおよび海外での介護サービスを提供する介護事業では、将来の展開を意識した利益確保と国内の強固なドミナントエリア形成に向けて、事業所の統廃合による合理化および人員配置の最適化を推進してまいりました。採算性が低い事業所を近隣の事業所に統合し、また、統合が難しい3事業所については、事業の根本的な見直しを行い、事業所の休止・廃止を実施しました。

この結果、同事業の売上高は60億66百万円、セグメント利益は5億8百万円となりました。

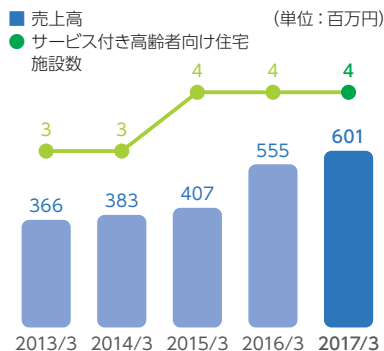
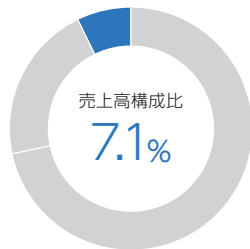
▶ エンゼルケア事業



エンゼルケア事業におきましては、湯濯サービス、CDCサービス(化粧、着付け、納棺)等を提供しています。2017年3月期上期後半に季節要因による売上高の急激な落ち込みがあり、利益に大きく影響いたしました。下期には回復が見られましたが、それでも影響が残り、減益となりました。海外におきましては、2016年11月より中国子会社の上海福原護理服務有限公司が、上海松江區葬儀場内のエンゼルケア専用特別室において、エンゼルケアサービスの提供を開始いたしました。認知度向上に向けて事業に注力しております。

この結果、同事業の売上高は17億67百万円、セグメント利益は3億94百万円となりました。

▶ サービス付き高齢者向け住宅事業



サービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、特定施設入居者生活介護事業者の指定を受けた「フォーライフ」を埼玉県内で4施設運営しております。人材採用および入居者獲得の競争が激化しており、そのためコストも上昇しております。しかしながら、入居者獲得につきましては、実際に入居実績の高い近隣地域における入居者獲得施策を強化し、稼働率の改善を図りました。

この結果、同事業の売上高は6億1百万円、セグメント利益は37百万円となりました。



※各セグメント利益は、全社費用配賦前の営業利益です。

トピックス

訪問看護事業の開始

「医療と介護の連携」が国の方針として打ちだされ、当社でも2016年7月に「訪問看護おおた」を1号店として、蒲田駅近くにオープンし、訪問看護サービスの提供を開始いたしました。訪問看護事業は、医療と介護の連携を強化する推進役であり、「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供する当社に必要不可欠なサービスと考えております。今後も、事業拡大を図ってまいります。



訪問看護イメージ

介護事業の事業所統廃合

2017年3月期下期に、採算性が低い事業所を近隣事業所と統合し、廃止いたしました。また、統合が難しい事業所につきましては、事業自体を見直し事業所の休止・廃止を行いました。事業所統合により、お客様と従業員を近隣事業所に引き継ぎ、統合した事業所は設備投資などを新たにすることなく、優良店へと生まれ変わります。今後、訪問看護事業を加えた介護事業のドミナントエリアを再形成いたします。

▶ 統廃合を実施した事業所

統合	デイサービスセンター 阿佐ヶ谷南 デイサービスセンター 両国 デイサービスセンター 北北沢 訪問介護 北糞谷 訪問介護 千束
休止・廃止	ショートステイ西蒲田 ▶ 休止 デイサービスセンター 小新 ▶ 廃止 居宅介護支援 小新 ▶ 廃止

上海ケアサービスの事業推進

2016年5月、上海市民政局主催の介護コンテストで、上海ケアサービスの訪問入浴事業が最優秀賞を受賞いたしました。海外資本の民間法人では唯一の受賞で、今後の上海ケアサービスの訪問入浴事業拡大の追い風に。2016年11月から、上海国営葬儀場にてエンゼルケアサービスの提供を開始いたしました。2018年3月末までに上海に15ある国営葬儀場のうち、3つの葬儀場でサービスを開始する予定です。



介護コンテスト授賞式の様子
(左から5番目が上海ケアサービスのスタッフ)

▶ 会社概要

▶ 会社概要 (2017年3月31日現在)

名称 株式会社ケアサービス
 代表者 福原敏雄
 本社 〒143-0016
 東京都大田区大森北一丁目2番3号 大森御幸ビル
 TEL : 03-5753-1170
 FAX : 03-5753-1165

創業 1970年10月5日
 資本金 205,125,000円

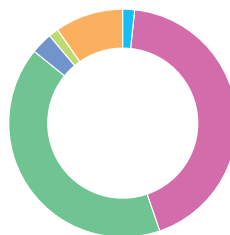
▶ 取締役および監査役の状況 (2017年6月26日現在)

代表取締役社長	福原 敏雄	社外取締役	藤好 優臣
専務取締役	石崎 利生	社外取締役	森田 直行
常務取締役	富澤 政信	常勤監査役	渡辺 桂
取締役	小林 航太郎	社外監査役	江越 眞
取締役	福原 俊晴	社外監査役	園部 洋士

▶ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

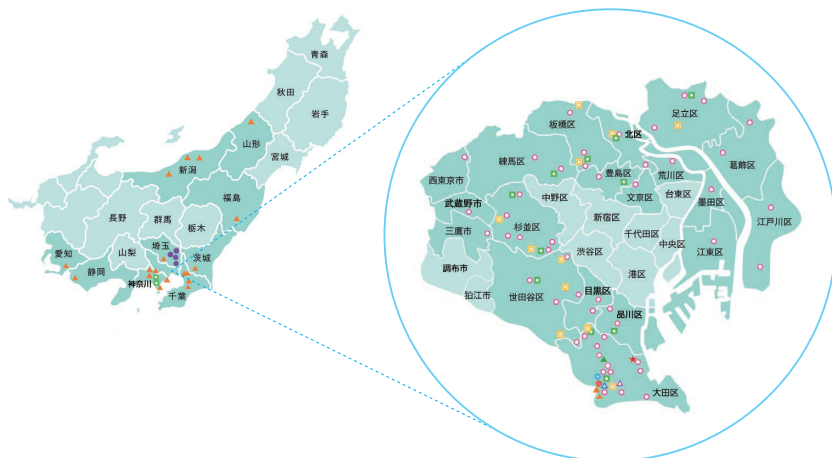
発行可能株式総数 8,400,000株
 発行済株式の総数 2,100,000株(自己株式203,300株を含む)
 株主数 1,121名

▶ 所有者別株式分布 (2017年3月31日現在)



● 証券会社	38,123株 (1.81%)
● その他法人	905,500株 (43.12%)
● 個人・その他	859,077株 (40.91%)
● 金融機関	65,500株 (3.12%)
● 外国人等	28,500株 (1.36%)
● 自己株式	203,300株 (9.68%)

▶ 事業拠点マップ(国内) (2017年6月1日現在)



- ★ 本社・ケアサービスヒューマンキャピタル
- 居宅介護支援 11事業所
- デイサービス 49事業所
- 訪問入浴 13事業所
- ◎ 訪問介護 1事業所
- △ 訪問看護 1事業所
- サービス付き高齢者向け住宅 4施設
- ▲ 配食センター 1拠点
- 福祉用具貸与・販売 1事業所
- △ クリーンサービス 1事業所
- ▲ エンゼルケア 20事業所

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 そのほかに臨時に必要な場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081)
電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.care.co.jp/

株式会社 ケアサービス

本社 〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目2番3号 大森御幸ビル
TEL: 03-5753-1170 <http://www.care.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

ホームページのご案内

当社のホームページでもサービス紹介や事業所案内、IR情報など詳しい情報を同時に開示しております。是非ご覧ください。



トップページ



IRページ

ホームページはこちら

<http://www.care.co.jp/>



ケアサービスIRメールのご案内

IR関連事項の最新情報をEメールでお知らせするサービスです。

登録はこちら

<https://www.care.co.jp/mailnews/>



Facebookでも最新の情報をお届けしています。

Facebookはこちら



公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/careserviceco/>

日興アイ・アール株式会社が実施した「2016年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」で優秀サイトに選出されました。

